



小牧市のアーティスト奥山 優さんをご存知ですか?重度の知的障害を持ちながらも、アートを通じた社会貢献活動でまちを彩っていく奥山さんの活動に迫ります。

塗り絵をプレゼントした米野小学校 4年3組の皆さんとパシャリ

(前列左: 中部日化サービス 岩田社長、前列真ん中: 奥山 優さん、前列右: 奥山美紀世さん)



始まりは絵本の寄贈

奥山さんの社会貢献活動は、絵本の寄贈から始まりました。23歳の時、奥山さんが描いた絵を使った絵本「わくわくアニマルしようかいじょ」(絵:おくやま ゆう、脚本:しょうじ あいか)を市内の保育園、認定こども園、幼稚園、小学校、図書館に合計52冊寄贈しました。

奥山さんの母、美紀世さんは「息子の絵を使った絵本を出すのが、家族の夢だったんです。たくさんの方に見ていただきたい。そんな想いで寄贈することにしました」と当時を振り返ります。



わくわくアニマルしようかいじょ

トラくんが案内役となってさまざまな動物を紹介する楽しいストーリー。こどもたちがわくわくしながら読み、0歳から楽しめる内容で、障がいのあるお子さんにも親しみやすい可愛い動物の絵がたくさん登場します。

色彩の魔術師

奥山 優さん

1999年生まれ、小牧市在住。重度の自閉症と知的障がいを持ちながら、独特的な色彩感覚で多くの人を魅了するアーティストです。「こまきアール・ブリュット展」で小牧市長賞をはじめとする多数の受賞歴を持ち、現在は「絵を描くこと」を仕事として企業とアート雇用契約を結び、活躍を続けています。





(こども達の手で新たな命が吹き込まれます)

アート雇用という新たな可能性

奥山さんの活動を支える中部日化サービス(株)の岩田社長は、障がい者雇用を進める中で奥山さんの作品に出会い、「ビビッときた」と即決したといいます。

「奥山さんの絵の持つ色使いやパワーの中に、やさしさやなごみ、いやしがり、自社にぴったりだと思いました。障がい者の活躍の場というのは想像しにくいけれど、奥山さんは実際に活躍している人を広めたい、知ってほしいと思っています」と岩田社長は語ります。

まちを彩る、色の魔法

奥山さんの色彩豊かな世界は、小牧市民病院への絵画寄贈や近隣市町での社会貢献活動へと広がりを見せています。そして今後は、こまきこども未来館にベンチの寄贈が予定されています。

まちのあちこちで出会う奥山さんの色の魔法。それは単なる装飾ではなく、人と人、心と心をつなぐ架け橋となっています。これからも奥山優さんの活動から、目が離せません。



こちらから絵画寄贈や本
店舗1階展示スペースで
行われた個展の様子が視
聴できます



この鮮やかな色彩のペガサスは、やがて図書館を訪れた一人の小学生の心を深く動かし、思いがけない形で新たな物語を紡ぎ出していくことになります。

一枚の絵が紡ぐ、 こどもたちの創造の輪

米野小学校4年3組の小川茉紘さんが図書館を訪れたある日、壁に飾られた奥山さんの「未来へのギャロップ」に心を奪われました。

「このカラフルで素敵な絵、みんなで塗り絵にしたい！」クラスの係活動で「塗り絵会社の社長さん」を務める茉紘さんは、塗り絵好きなクラスメイトのために下絵を用意していました。この特別な絵との出会いに胸を躍らせた彼女の思いは、お母さんを通じてインスタグラムのDMで奥山さんの家族へ届けられました。この小さな出会いは、中部日化サービス(株)の協力を得て大きな「つながり」へと発展。特製の塗り絵ブックが作成され、米野小学校の4年生ほか、計約150人のこどもたちへ贈られることになったのです。



(寄贈された塗り絵ブックと小川茉紘さん)

塗り絵が届いた日、「わあっ」と教室は歓声に包まれました。こどもたちは配られるやいなや、思い思いの色鉛筆を手に取り、それぞれの感性で塗り絵を色づけ、奥山さんの作品に新たな命を吹き込んでいきます。

まちに広がりだす カラフルな贈りもの

今年3月、奥山さんをアート雇用する中部日化サービス(株)から中央図書館へ、特別なギフトが贈られました。奥山さんの独特的な色彩感覚で描かれた動物たちと、愛らしい自画像をデザインしたしおりとブックカバーです。図書館を訪れる多くの方々の手に渡り、思いがけず出会った鮮やかな色彩の世界に心躍らせ、読書の時間がより特別なものになったようです。



(奥山さんがデザインしたブックカバー & しおり)

「作品に触れることで、本を開く楽しさがさらに広がってほしい」という願いが込められたこの取組は、図書館という誰もが訪れる場所で、アートが持つ力を日常に溶け込ませる試みとなりました。

さらに7月には市制70周年をお祝いして、奥山さんから市へ特別な贈りものが届けられました。「未来へのギャロップ」と名付けられた絵画です。馬が希望を胸に未来へ颯爽と駆けていく姿を描いたこの作品は、中央図書館の1階に展示されています。



(寄贈された絵画「未来へのギャロップ」)

市制70周年記念 令和7年度 小牧市障がい者作品展「こまきアール・ブリュット展」

障がいのある方々が紡ぎ出す、既成概念に縛られない自由な表現の世界をご覧ください。奥山優さんも入賞歴を持つこの展示会は、障がいの有無を超えた交流の場として、共生社会の実現を目指して開催しています。

【展示】 11/29(土)～12/7(日) 10:00～17:00 ※最終日は15:00まで
市民館(展示場)・中央図書館 イベントスペース

【表彰式】 12/7(日) 13:30～中央図書館 イベントスペース

巡回展示等の詳細
はホームページをご確認ください



ID 42431